

響き合おう 伝えよう 音楽会 ~ 15日(金)校長講話から ~

音楽会が近づき、校長室にもきれいな歌声が聴こえてくるようになりました。その歌声を聴きに、体育館へ行くことも増えてきました。

みなさんは『シャボン玉』という歌を知っていますか？

(全校で口ずさむ)  
この歌をつくった野口 雨情(のぐちうじょう)さんは、100年程前にこの詩を書きました。

結婚して、最初に女の子がうまれて、わずか8日目に亡くなってしまいました。100年前は医者も少なく、うまれたばかりの子どもが死んでしまうことは、めずらしくはないことでした。

この歌は、子どもを亡くしてつらく悲しい思いを、シャボン玉と結び付けてつくった詩だといわれています。

「シャボン玉」を亡くってしまったお子さんの命をたとえているのです。

「シャボン玉 飛んだ」は、命がうまれたこと。

「シャボン玉 消えた」は、死んでしまったこと。

「飛ばずに 消えた」は、みなさんのように元気に小学生になれずに、すぐに死んでしまったことを表しているのです。

そして、「風々 吹くな」は、シャボン玉が空に向かって飛んでいくように、元気な子どもに育ってほしいという思いが込められているのだと思います。



この気持ちを知ったとき、何気なく歌っていたこの歌を、雨情さんの気持ちになって歌いたいと思うようになりました。また、この歌を聴くときは、雨情さんの気持ちを受け止めながら聴きたいと思いました。



シャボン玉

野口 雨情

シャボン玉 飛んだ 屋根まで 飛んだ  
屋根まで 飛んで こわれて 消えた

シャボン玉 消えた 飛ばずに 消えた  
生まれて すぐに こわれて 消えた

風 風 吹くな シャボン玉 飛ばそ



1882 ~ 1945  
詩人、童謡・民謡作詞家



音楽会に向けて、一生懸命練習してくれているみなさん、おうちの方々や地域の方々に、詞をつくった人の気持ちを伝えるのは、みなさんの歌声です。音楽会の1～6年生の歌声を楽しみにしています。もちろん、すばらしい合奏も楽しみにしています。



全校で歌う『ねえ 歌おう』に、「歌は言葉を越えるから」「歌は心をつなぐから」という歌詞があります。そして、今年の音楽会のテーマ「響き合おう 伝えよう」ですね。こうした気持ちを大切にして、音楽会に向け、これから仕上げの練習を続けていきましょう。

すべての人の心に残る音楽会になることを期待しています。



## 平成22年度 校内音楽会

- 1 日時 平成22年10月28日(木)  
午前9:00～12:00(予定)
- 2 会場 千曲市総合文化会館 あんずホール  
皆様方のご来場をお待ちしています。

P T Aの方々による『WA になっておどろう』のステージも、是非ご期待ください。



子どものために猛練習中!

## P T A作業(17日(日))ご協力ありがとうございました!



P T A会長挨拶

たくさん語り合い、それ以上に手を動かしてお願いします。



窓ふき作業



枝おろし作業



堆肥・草捨て場の整理

工事中、さらに全棟断水でご不便をおかけしましたが、学校中を本当にきれいにしていただきました。校舎内では「窓ふき」「床の汚れ落とし」。また、これまでの「トイレ掃除」が改修のために不要となったため、「蛍光管磨き」をやっていただきました。教室がとても明るくなり、よい学習環境になりました。校舎外では「教育資料館(旧本館)の清掃」「堆肥場・草捨て場の整理」「側溝の泥上げ」「草取り」「樹木の枝おろし」等が行われました。特に、枝おろしは、前日のうちに作業をすすめていただき、ご苦労をおかけしました。学校のため、子どもたちのために、お力をお貸しいただき、本当にありがとうございました。